

ベルジャーエフの思想
—哲学の形成と問題群

目次	1
はじめに	2
第一部 最初期における思想的位相	9
第1章 マルクス主義と形而上学	9
1. 批判哲学とマルクス主義の結合をめぐる	10
2. 認識と真理	14
3. 形而上学的イデアリズムへの展開	20
4. イデアリズムの根底へ	26
第2章 哲学と宗教	42
1. 宗教と世界観	43
2. 形而上学的人間像の構築	48
3. 精神的レアーリノスチと唯心論	53
4. ロシア哲学と新しい宗教意識という問題	58
5. 宗教哲学の射程	64
補章 『道標』とインテリゲンツィア批判について	82
第二部 哲学思想の展開	90
第3章 認識論の新たな地平	90
1. 認識論における問題の遡行	91
2. 存在論的認識論への展望	99
3. キリスト教的モチーフの導入	107
4. 神秘主義による存在論的認識論	114
第4章 『創造の意味』における人間論	127
1. 罪と創造の相の下に	128
2. キリスト教的人間論	133
3. 三位一体からの視点	140
4. 歴史哲学的創造論	148
結びにかえて	163
文献一覧	164